

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年 2月 14日

公表: 令和4年 3月14日 児童発達支援・放課後デイサービス ぱれっと 職員数7 回答数7

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7				時間で区切り対応しているため確保できている
	2	職員の配置数は適切である	7				利用人数に応じた配置基準の職員を配置している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		1		限られた生活空間の中で工夫し配慮している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7				毎日利用前に清掃・消毒を実施している。活動の内容に合わせて机などの配置や場の設定をしている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7				日々のミーティングで適宜振り返りや目標設定をして職員間で共有している
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				保護者の評価や意見を把握し改善につなげていきたい
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1			https://www.gurutto-fujinomiva.com/school/palette/index.html
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			2	5	第三者機関からの外部評価は受けていないが、第三者からの意見は改善につなげていきたい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		1		社内研修や社外研修は積極的に参加するよう努めている
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7				保護者や児童のニーズを把握し、日々のミーティングや個別支援計画に沿って実践している。保護者の相談にも応じている
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1			ケース会議での内容やwiso検査の内容を活用しているが職員間での統一が必要
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7				個別に必要な支援を提供している。発達支援では特性に合わせてプログラムを組み、家族支援では園や地域活動支援センターなどと協議をしながら進めている
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7				個別支援計画に沿って支援を行っている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		1		活動プログラムを立てるにあたり、個々の意見を反映しながら立案している
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7				ケース会議などを通して職員で適宜見直しを行っている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		2		個別活動や集団活動において、子どもが興味を持てるような活動を計画していたがコロナの影響で実践できなかった
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		1		毎日のミーティングやホワイトボードでの提示で情報共有を行っている 前日の様子なども伝達している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		1		毎日の記録を記入する際に、その日の出来事や子どもの様子などを記載し共有している
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				日々の提供記録に支援の様子や子どもの行動の様子などを記録している
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7				基本6ヶ月毎に見直しを行うが、毎月の職員会議でも適宜共有している
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	1		児童発達管理責任者が出席するようにしている
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1			必要に応じて連携している 関係機関の会議にも出席している
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					現在受け入れをしていない

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				現在受け入れをしていない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	2	情報共有・相互理解を図っているケースもある
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	3	現在はそのようなケースは無いが、今後対応していきたい
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	3	研修などには積極的に参加している支援センターとの連携はあまりない
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3	4	コロナ禍のため実施できなかったが、今後検討していく 国からの要請があれば対応していきたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3	2	コロナ禍のため活動がなかったが、今後できれば参加していきたい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			利用時に子どもの様子などを伝え、共通理解をはかっている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		1	必要に応じて、親子関係を含め相談・支援を行っている
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時には保護者と一緒に読み合わせを行っている。運営規定の変更時には適宜伝達や表示をしている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			支援内容などの丁寧な説明を行い同意を得ている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		1	利用時に子育て相談を行っている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	5	コロナ禍のため特に実施しなかった
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		相談の申し入れがあった際対応していきたい
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	3	個別で口頭にて対応している。必要に応じて手紙を配布している
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			職員個々で個人情報同意書にて周知徹底している
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		1	各個人に合わせて実施している
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				コロナ禍のため実施できなかった。今後状況に応じて実施を検討していきたい
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			マニュアルの読み合わせや見直しなどを適宜行い、職員には周知できている。また、室内の提示にて周知できている
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			避難訓練を年2回実施した
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			現在対応するケースはないが、必要時には状況を確認し実施していく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	7			指示・情報に基づきおやつなど考えている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		1	職員会議や日々のミーティングにて共有できている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		1	適宜研修に参加し、研修内容の共有を会議で実施している
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		1	現在そのような事例はないが、必要時には適宜説明・計画をし対応していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。